

学校だより



育ての泉

大津市立膳所小学校 児童数 629人
「ひとり立ちできる子ども」

- なかよくする子ども
- よく考える子ども
- 心の豊かな子ども
- じょうぶな子ども

HP <http://www.otsu.ed.jp/zeze/>
平成30年10月18日発行

『平成30年度全国学力・学習状況調査分析結果について』

○調査目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【結果について】

《概要》

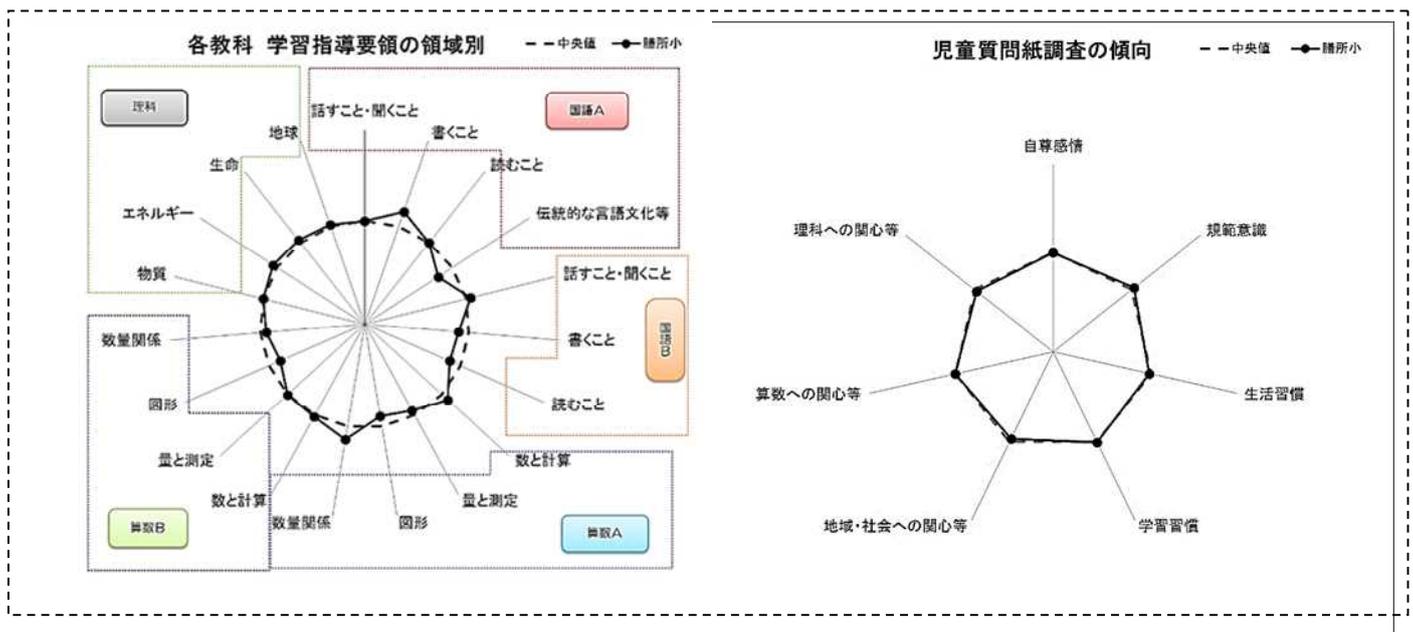
国語 A のみ全国平均正答率を若干下回ったものの、国語 B、算数 A・B、理科においては、滋賀県や全国の平均を上回った。特に理科で高い正答率が得られた。項目的には、算数の「図形」、国語 A の漢字、国語 B の「読むこと」「書くこと」について全国平均より低い結果となったが、その他は同等以上の平均正答率であった。質問紙調査では、ほぼ全国と同傾向の結果となった。

《強み・弱み》

国語では、モデルとなる文章に即して自分の考えや意見を書くことができ、算数や理科では、基礎的な知識の定着が見られた。しかし、目的や相手の意図に応じて書いたり読んだりすることや、式の意味や解き方を説明するといった問題に苦手な傾向が見られた。また、題意を正確に捉えられずに正答できなかった問題も少なくなかった。習得した基礎知識を目的や意図に合わせて応用・活用する力の育成が今後の課題であると考えられる。

◇強み・弱みレーダーチャート◇

※本校の傾向を見るためのものであり、学校ごとに基準が異なるため、他校と比較できるものではありません。



※グラフは全国平均正答率と本校平均正答率のポイント差に基づいて作成しました。

破線はポイント差の中央値を表しています。破線より外側の場合は強み（成果が現れている項目）、内側の場合は弱み（改善を検討する項目）と捉えることができます。

【指導の充実に向けて】

◇各教科において主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業を目指す。

・児童の興味関心を引き立てる教材の研究開発。

・言語活動の一層の充実を図り、思考を表現することで知識と思考が結びついた深い学びに繋げる。

◇基礎的・基本的な内容をさらに定着させるため、日常の継続的な取り組みを進める。

膳所小学校HP「今日の膳所小」より

たてわり活動



車いす体験（4年）



通学路点検



NHK放送局見学（5年）



弁護士による出前授業（5年）

